



## 第1四半期は売上高1%増、営業利益26%増と順調に推移

- 当四半期の連結業績は、前期実績及び期初予想を上回り、順調に推移しました。  
売上高は前年同期比1%増の32億3千7百万円となり、営業利益は同26%増の3億2千4百万円、  
四半期純利益は同28%増の1億9千2百万円となりました。
- DOMOの売上高は同1%増の29億2百万円と増収を確保しました。  
首都圏版では予想通り減収となりましたが、名古屋版及び大阪版での増収により相殺しました。
- 今期の連結業績予想に変更はなく、通期の売上高は同横ばいの122億6千4百万円、  
経常利益は5億1千6百万円、当期純利益は2億3千万円と予想しています。  
今期の期末配当は1株当たり2円を予想しています。

## 業績のご報告にあたって

株主の皆さまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

始まったばかりとはいえ、最初の四半期で期初予想を上回る収益を確保できたことに喜んでおります。4月に行った決算発表や5月に開催した株主総会において、株主の皆さまに繰り返し申し上げてきた「収益構造の改善」について、第一歩としての結果を残せたためです。

成長を目指すべき企業ならば単年度の利益確保より売上成長に集中すべきではないか、という声は少なくありませんが、私自身、成長を放棄しているわけではありません。ただし、成長が投資と回収のサイクル(循環)によってもたらされる以上、次なる投資に向けた経営の機動性を確保すること、つまり収益構造を改善し、一定の投資余力を確保しておくことは、必要不可欠であると考えています。

また、当四半期は順調でしたが、足元の状況は楽観視できません。DOMO 首都圏版は引き続き減収傾向にあるためです。人材サービス企業顧客の流出に歯止めがかからず、飲食・小売業顧客の獲得で相殺するに至っていません。さらに5月中旬以降、全地域において、顧客が抑制気味に転じており、これが単なる季節性なのか慎重に見極める必要があると捉えています。

当四半期は、全従業員の努力により、前年を上回る売上を、前年を下回るコストで達成することができました。この努力を継続し、通期の業績予想及び復配を必ず達成したいと思っております。

引き続き株主の皆さまからのご支援を賜りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

2007年6月

代表取締役社長 垣内 康晴

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

お問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 広報・IR部

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300



## ■ 当四半期の業績

(百万円)	'08/2 Q1 実績		'07/2 Q1 実績		前年同期比		'08/2 Q1 予想		予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,237	100%	3,191	100%	46	1%	3,119	100%	118	4%
DOMO	2,902	90%	2,876	90%	25	1%	2,793	90%	108	4%
DOMO NET	17	1%	6	0%	10	165%	4	0%	12	293%
ESHIFT	17	1%	25	1%	△7	△30%	22	1%	△4	△20%
FP 取次	300	9%	283	9%	17	6%	299	10%	1	0%
売上原価	1,021	32%	821	26%	200	24%	1,055	34%	△33	△3%
販管費	1,891	58%	2,112	66%	△220	△10%	1,970	63%	△78	△4%
営業利益	324	10%	257	8%	66	26%	93	3%	230	247%
経常利益	327	10%	256	8%	71	28%	95	3%	232	244%
四半期純利益	192	6%	150	5%	42	28%	56	2%	136	242%
EPS	¥5.57		¥4.37				¥1.63			

(注) FP 取次:フリーペーパー取次事業、販管費:販売費及び一般管理費、EPS:1株当たり四半期純利益

### 前年同期及び期初予想に対して増収増益を達成

当四半期の連結業績は、売上高が前年同期比 1%増の 32 億 3 千 7 百万円、営業利益が同 26%増の 3 億 2 千 4 百万円、経常利益が同 28%増の 3 億 2 千 7 百万円、四半期純利益が同 28%増の 1 億 9 千 2 百万円と順調に推移しました。

主力事業である DOMO の売上高は横ばいの 29 億 2 百万円となりましたが、期初予想では減収を見込んでいたため、前向きに捉えています。一方、DOMO NET の売上高は 1 千 7 百万円となりました。DOMO NET は DOMO とセット販売を行っているため、単独での売上高を大きく見込んでいませんでした。

ESHIFT は、静岡県内での競争が激化する中、限られた経営資源(営業力)を DOMO へ集中させている

ため、引き続き苦戦しました。そのため、9 月より DOMO NET へ統合することを決定しました。

フリーペーパー取次事業の売上高は同 6%増の 3 億円となりました。インターネット企業が無料誌を創刊する一方で、既存の無料誌の淘汰が始まるなど、フリーペーパー市場は徐々に成熟しているようです。

一方、DOMO のフルカラー化による印刷費の増加が影響し、売上原価は同 24%増の 10 億 2 千 1 百万円となりましたが、積極的なコスト削減に努めた結果、販管費は同 10%減の 18 億 9 千 1 百万円となりました。

コストの削減に注力した結果、営業利益は大幅増益となり、黒字転換を果たしました。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

お問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 広報・IR 部

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300



## 引き続きDOMO首都圏版は減収、名古屋版・大阪版の増収で相殺

DOMO 首都圏版の売上高は、ほぼ期初予想通り10%の減少となりました。人材サービス企業顧客の流出が継続し、「短期」「日払い」「高収入」の求人情報に絞り込んだ maido DOMO が不振であるためです。そのため、第2四半期中に抜本的な対策を講じる予定です。名古屋版・大阪版は、営業力強化が成果に結びつき、それぞれ26%の増収、8%の増収となり、首都圏版の減収を相殺しました。

DOMO と DOMO NET の連動性強化の効果は順調に表れています。「連動性強化」とは、DOMO の全ての求人広告に「Web 応募コード」を記載し、さらに DOMO NET へ自動掲載することで、DOMO を見てパソコンや携帯電話から簡単に応募できるようにしたことです。このリニューアルにより、DOMO NET 経由の応募数は、リニューアル前に比べ約3倍にまで増加しています。まだ十分とは言えませんが、DOMO NET の商品力は着実に向上しています。

## ■ 今期の業績予想

### 業績予想に変更なし

第1四半期は順調な滑り出しとなりましたが、中間期及び通期の業績予想に変更はありません。最大の理由は、5月中旬以降、売上計画の進捗に変化が見られるためです。季節性として、5月の連休明けから夏場にかけて需要が減退する傾向がありますが、今期はそれが顕著となっています。単なる季節性なのかどうか慎重に見極める必要があります。

今期の連結業績は、売上高が前年同期比横ばいの122億6千4百万円、営業利益が同7億6千3百万円増の5億8百万円、経常利益が同7億6千9百万円増の5億1千6百万円、当期純利益が同4億2千8百万円増の2億3千万円と予想しています。

業績連動型の配当方針に基づき、今期は1株当たり2円の期末配当を予想しています。

引き続き、今期の経営方針である①DOMO と DOMO NET の連動性強化、②営業力の強化、③収益構造の改善に注力し、新たな投資に向けた経営の機動性の確保に努めます。

「営業力の強化」については、前期より取り組んできた結果、営業活動「量」（顧客への接触頻度や訪問件数等）は、概ね目標水準に引き上げることができています。その結果、以前に比べ結果を予測しやすくなったと捉えています。今後については、「質」（能力やスキル）の強化に軸足を置き、より生産性を高めていく方針です。

「収益構造の改善」の具体策としては、当社の三大コストである①印刷費、②流通費、③広告宣伝費を中心に抑制・削減を徹底します。DOMO のフルカラー化により印刷単価が上昇しますが、発行部数の最適化により印刷費全体の増加率を抑制します。また、少部数の配布に留まっている不採算ラックを積極的に撤去し、配送費の削減を推進します。さらに、年初のリニューアルにより DOMO NET 経由の応募が大幅に増加しているため、インターネット広告や交通広告を抑制する方針です。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

お問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 広報・IR 部

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300



### 連結業績予想(2008年2月期 通期)

(百万円)	'08/2 予想		'07/2 実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	12,264	100%	12,272	100%	△7	△0%
DOMO	10,876	89%	10,990	90%	△113	△1%
DOMO NET	63	1%	31	0%	31	102%
ESHIFT	37	0%	106	1%	△69	△65%
FP 取次	1,286	11%	1,143	9%	142	13%
売上原価	4,118	34%	3,587	29%	531	15%
販管費	7,637	62%	8,939	73%	△1,302	△15%
営業利益	508	4%	△254	△2%	763	—
経常利益	516	4%	△253	△2%	769	—
当期純利益	230	2%	△198	△2%	428	—
EPS	¥6.66		△¥5.74			
DPS	¥2.00		—			

(注) FP 取次:フリーペーパー取次事業、販管費:販売費及び一般管理費、EPS:1株当たり当期純利益、DPS:1株当たり配当金

## ■中間決算発表予定日のお知らせ

2008年2月期中間期の決算発表予定日は、10月中旬を予定しています。当社ホームページでは決算発表予定日などIR関連のスケジュールを掲載していますので、インターネットに接続できる環境にある方はぜひご利用ください。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

また、電子メールアドレスのみで登録が可能な「メールマガジン」では、ホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしています。こちらもあわせてご利用ください。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

お問い合わせ先:  
株式会社アルバイトタイムス 広報・IR部  
E-mail: [ir@atimes.co.jp](mailto:ir@atimes.co.jp) Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300